

‘紅まどonna’の果皮障害軽減に対するジベレリンの効果

着色終期のジベレリン(以下GAと表記)散布で、果梗部のクラッキングの発生が軽減する。
 ※紅まどonnaに対するジベレリンの使用は本年度から認可

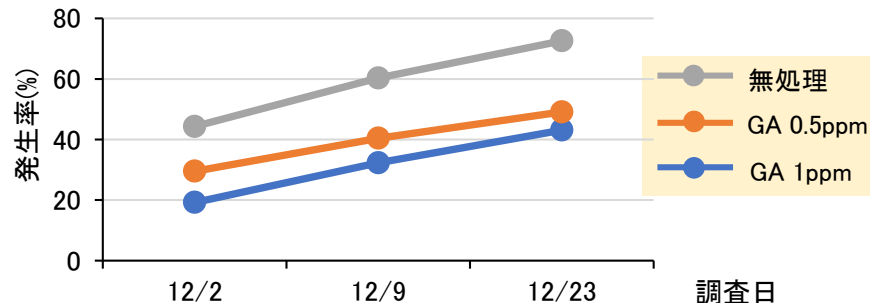
試験区

供試樹：雨よけハウス
 高接ぎ13年生紅まどonna
 供試剤：ジベレリン(GA)
 散布日：2019/11/6(着色終期)
 散布濃度：1ppmあるいは0.5ppm
 散布方法：樹別散布



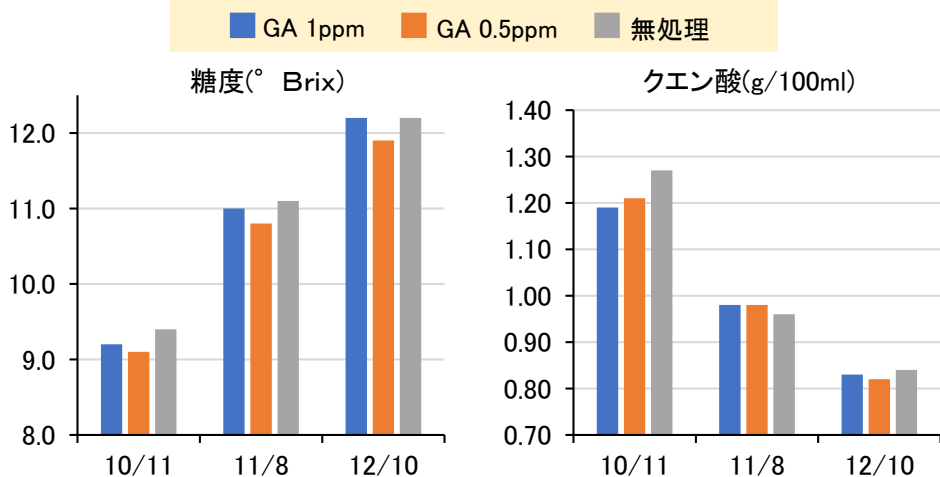
収穫前の果梗部に発生する亀裂(クラッキング)

クラッキング発生率



ジベレリン散布はクラッキング軽減に効果がある

果実品質



ジベレリン散布により、糖度・酸含量に明らかな差は見られない

果皮色

処理区	果皮色(a値)
GA 1ppm	23.9
GA 0.5ppm	24.2
無処理	25.4
有意性	ns

注) 調査日: 令和元年12月10日
 nsは有意差なし(n=3)

GA 1ppm



GA 0.5ppm



無処理



ジベレリン散布で果皮の着色がやや遅くなる